

家庭科学習指導略案（第2学年A組 男子16名，女子19名）

平成30年11月15日（木）3限
授業者：川尾裕美

- 1 単元名：生活を豊かにするための工夫をしよう（トートバッグの作製）
- 2 本時のねらい：『ミシン縫いや仕上げをし、トートバッグを完成させ、作り上げた喜びや達成感をもつ』
＜関心・意欲・態度＞ ＜生活の技能＞
- 3 準備物：ミシン 裁縫セット バイアステープ
- 4 本時の学習過程（第7時／全7時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
・作る手順を確認する。 ①ポケット縫い ②肩ひもテープをつける ③底布を縫う ④両サイドを縫う ⑤マチを縫う （本時は③～⑤の製作）	○意欲的に製作に取り組んでいる。 ※見本を提示する。

めあて：正しく安全に基本的なミシン縫いができるようになる。

- ・上糸のかけ方
- ・下糸の出し方
- ・縫い始め
- ・縫い終わり
- ・角の曲がり

※相互に教え合ったり、確認し合って、製作する。
わからない場合は手順を教科書P. 158～
P. 160のミシンの使い方を振り返らせながら、確認させる。

山場：仕上げをし、トートバッグを完成させ、作り上げた喜びや達成感を持つ。

仕上げの手順

- ・糸の始末をする
- ・バイアステープをつける。
- ・名前をつける。（手縫い）

＜めあての評価＞

正しく安全にミシン縫いができる。

＜ねらいの評価＞

トートバッグを完成させて、作り上げた喜びや達成感をもつことができる。

＜振り返り・まとめ＞

製作、活用を振り返って、感想をまとめたり、自己評価を行ったりして、生活へとつなげる。